



**この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。**

申立ての趣旨は、当てはまる番号を で囲んでください。  
の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
( 相手方 / 申立人 )は、( 申立人 / 相手方 )に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの( 調停 / 審判 )を求めます。	
1	毎月( 金.....円 / 相当額 )を支払う。
2	毎月金.....円に増額して支払う。
3	毎月金.....円に減額して支払う。

申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....	別居をした日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....
婚姻費用の取決めについて	
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無 あり(取り決めた年月日:平成.....年.....月.....日) なし	
2 1で「あり」の場合	
(1) 取決めの種類	〔.....家庭裁判所.....(支部 / 出張所)〕 平成.....年(家.....)第.....号
口頭 念書 公正証書 調停 審判 和解	
(2) 取決めの内容 ( 相手方 / 申立人 )は、( 申立人 / 相手方 )に対し、平成.....年.....月から.....まで、毎月.....円を支払う。	
婚姻費用の支払状況	
現在、毎月.....円が支払われている(支払っている)。 平成.....年.....月ころまで、毎月.....円が支払われていた(支払っていた) が、その後、( 減額された(減額した) / 支払がない(支払っていない)。) 支払はあるが、一定しない。 これまで支払はない。	
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)	
申立人の収入が減少した。 申立人が仕事を失った。 申立人自身・未成年者にかかる費用( 学費 医療費 その他)が増加した。 その他(.....)	相手方の収入が増加した。